

学校事務職員の現在と未来のために！

がくろう神奈川へようこそ！

《こんな日は、
がくろう神奈川です》

改まつてのあいさつは4月になって、新たに採用されたみなさん、それから日々の労働の中でもやややとした不安や理不尽なことをなんとかしようと決意新たなみなさんに、ともに闘う仲間としてがくろう神奈川を活用してほしいと思うから。

「残業ゼロ」とか、「正社員ゼロ」とか、目論まれる労働法制の大改悪。「官製ワーキングプア」といわれる公務員の非正規労働者も今や3割とも。学校事務職員の臨任職員として何年も同じ給料で働いている方もたくさん。安倍政権は労働者保護の「音聲」を打ち破り「世界で一番企業がビジネスできる環境を目指す」と言いつけると実際は脆弱な「音聲」を強固にする「こと」が求められています。がくろう神奈川は、学校事務職員による学校事務職員のための労働組合。これまで、臨任事

務職員の給与の頭打ち改善・任用期間の改善、再任用者の給与改善・療養休暇獲得のための取り組み、公平・公正な昇格などなど取り組んできました。小さな組合だけ獲得できたものもたくさんあるよ。

管理職、同僚からのパワハラや理不尽な仕事の押し付けなど、職場の悩みもお任せです！

《働き続けるために》

横浜新入学校事務職員Sさんの分限免職問題では、労働相談で助けを求めてきたSさんを組合で支え、裁判や横浜市教委との交渉で職場復帰を求めて闘っています。年々増える仕事に、働いても働いても仕事が終わらないため息つく人いませんか？それはあなたのせいではなく、できっこない仕事を下ろしてくると県教委や市教委、管理職のせい。また、仕事をどんどん引き受けることで事務職員の存在価値を高めようという淡い期待の

事務研や日教組事務職員部など問題でもあると思います。それでは問題解決はできない。

《共に学校事務労働運動を！》

働くことは生きること。私たちはただ当たり前働き、そのことが生活や労働を豊かにするような働き方を目指します。2年後の給与費等の政令市移管(政令市の職員給与は県から市へ移管される)を控え、私たち学校事務職員の未来も不安がいっぱい、今必要なのは、きちんと言うべきことを言う闘う労働組合です。

『パレードへようこそ』(原題:PRIDE)は今おすすめの映画。1984年3月、サッカー(当時のイギリス首相)による威嚇つぎに抗する南ウエールズの田舎町ティライスの炭鉱労働組合を支援したロンドンのレスピアン、ゲイのグループの実際のエピソードを映画化

したものです。労働運動の力強さと楽しさ、労働運動とLG BT(レスピアン、ゲイ、ハイ・トランスジェンダー)の人たちがそれぞれの課題を超えて連帯し、本当の「私たちの社会」を作り出すための闘いが感動的です。

私たちががくろう神奈川もみなさんといっしょにこんな闘いが創り出せたらいいな。困ったことは何でも相談してください。役に立ちますーそして、学校事務職員の現在と未来のためにがくろう神奈川で共に！(映画もぜひ見てね！)

Sさん分限免職取消訴訟

免職から丸二年ー一日も早い職場復帰を！

4月14日、Sさんの分限免職処分を取り消しを求める裁判の第9回口頭弁論が開かれた。毎回、法廷を埋め尽くす傍聴、支援の皆さんに感謝！

この日原告側からは、免職処分が如何に事実無根の理由で以つて為されたかを丁寧に説明する準備書面5を提出。

この準備書面はとても分かりやすいものなので興味のある方は一報をお送りします。

被告側は、一応反論するといふものの、この間同じことの繰り返ししか為し得ていない。と言う訳で裁判所からは、主張整理、証拠調べに入りた

次回 第10回口頭弁論
6月9日午前10時半から
横浜地裁502号法廷で

*「公正な裁判の判決を求める署名」を集めています。協力！組合webサイトからダウンロードできます。http://gakurou.gjpw.net/

い旨、表明された。

横浜市教委は 恣意的な任用を止めろ！ 公平・平等な5・6級任用を求めろ！

この4月の5級6級の昇格者が明らかになりました。今年度も横浜市は恣意的な任用を強行し、52歳の6級昇格、44歳の4級昇格などを行いながら、理由もなく50歳代4級在級者を放置した（各地区の発令者数と発令年齢は別表の通り）。

私たちは、一貫して年齢を基本とした公正・平等な任用を追求してきました。何故なら、一人一人の置かれた環境がそれぞれで異なり、その環境を無視しうる、客観的な指標など存在しないからです。

地区名	5級昇格者数		6級昇格者数	
	人数	年齢	人数	年齢
横浜	5	49,48,45歳各1 44歳2	5	57歳2 56,55,52歳各1
川崎	1	49歳1	5	58歳5
相模原	3	49歳3	4	59歳3 58歳1
横須賀	0		3	57歳3
湘三	0		3	57歳2 56歳1
県央	0		5	58歳4 57歳1
中	1	49歳1	3	58,57,56歳各1
県西	1	49歳1	1	57歳1

2015.4.1

■4級定年退職者を出すな！
任用の選考に際し、私たちは①第一に年齢を基準とした昇格とし、市町村によって発令年齢に不均衡が生じないようにすること、所属組合や組合加入の有無による差別をしないこと②50歳代4級在級者、58歳以上の5級在級者に留意するよう申し入れしてきました。これに対し県教委は、5級については49歳以上の4級在級者数とほぼ同数を割り当て、県教委もまた、50歳代4級の解消を意図したと思われる。■横浜市教委の差別発令
各地教委も、5級についてはその線での発令を行なった。が、ひとり横浜市教委は58歳、50歳の4級在級者を無視し、49歳3人中1人、48歳2人中

1人、47歳46歳を飛ばして45歳と44歳から1人ずつ発令した。勿論こうした発令に、客観的基準など見られない。誰もが、あの人が発令されるなら、と納得するようなものではない。若し客観的基準があるとすると、市教委にとって都

5月1日はメーデーに行こう！！

今年も、もうすぐ5月1日がやって来る。労働者の祭典メーデーだ。メーデーの起源は19世紀アメリカの労働者が、劣悪な労働環境を改善すべく、8時間労働制を求めて立ち上がったことに始まる。以来、全世界で5月1日に労働組合が中心となり、集会やデモを行ってきた。

メーデーには祝祭の意味もあるが、安倍政権が戦争のできる国づくり、原発再稼働、労働法の大改悪などを押し進めている今、これらにきつち

合の良い、市教委の考えに従順に従っている、というものしかない。

■5級定年退職者の大量産出

6級昇格は悲惨な状態である。有資格者は多くいるものの、発令数の大幅な絞り込みにより、5級定年退職者が続々と出ざるを得ない状況にある。そうした中でもやはり横浜市教委は、並み居る有資格者の中から、別表の様に恣意的に選考している。

私たちは、年齢を基本とした、公正・平等な昇給を求め続けます。

5・3横浜・臨港パークへ！ 平和といのちと人権を！憲法集会

安倍政権の下で日本の社会は崖っぷちの危機に追い込まれようとしている。

集団的自衛権行使のための戦争立法策定が急がれ、原発再稼働が目論まれる、労働者を使い捨てにする労働法制改悪が行われ、貧困・格差が一層深刻化し、沖縄では民意を蔑ろにした辺野古基地建設が力づくで進められる、そして歴史修正主義の教科書検定：これになんとしてもストップをかけなければ、の思いを共にする人々が5月3日横浜に総結集する。

さあ、横浜から「こんなのいやだ！」の声を全国に発していこう。

●日時…5月3日
プレコンサート12時半より
メインステージ13時半より
15時半

●会場…横浜・臨港パーク
（みなとみらい駅）徒歩5分
●スピーチ…大江健三郎、樋口陽一、雨宮処凛、落合恵子、香山リカ、澤地久枝、沖繩から
●リレートーク（戦争・原発・貧困・差別をめぐって）

神奈川メーデー案内
5月1日 10時集会反町公園
11時 デモ行進
12時 メーデー祭 沢渡公園
13時半学習会（DVD視聴）
県民センター